

「三股プライド」 ～心と形を整える～

令和6年1月10日(水) NO19 文責 ^{きした}木下 ^{ふみあき}文秋

石川県能登半島地震

1月1日午後4時10分、石川県能登地方でマグニチュード7.6の地震が起きました。1月10日現在202名の方が亡くなり、102名の方の行方が分かっていません。地震はヒューマンエラー（人為的ミス）ではなく、いわゆる大雨や雪崩と同じ自然災害です。ですから、起きてしまったことは仕方がないことですが、正月の午後4時、一番まったりしている時間帯に、しかも雪の降る寒い北陸地方でこんな大きな地震が起きるなんて、それはひどすぎると思う人が多いでしょう。目の前で奥様と娘さんが生き埋めとなり、救いを求めているのに、助けが来られず最後は遺体となって見つかったという報道もあり、おなしさとせつなさで何とも言えない心境になります。まるで、東日本大震災を思い出させるような映像もたくさん流れました。残念なことは他にもあります。この場に及んで被災地に入り窃盗をする人がいたり、偽の情報をツイートしたりする人もいるそうです。日本人はいつの間に、こんなに質の低い国民になってしまったのだらうと思います。始業式のあいさつで、この地震の話を生徒にさせてもらいました。正月ですので、夢とか希望とか晴れやかな話がふさわしいと思いましたが、どうしてもこの話は避けては通れないと思ったからです。生徒には、この震災を見て何を学ぶべきかということを行いました。災害への備えをすることはもちろんですし、色々学ぶべきことはあると思います。私たちは学校で仕事をする身として、生徒には『自分を含むすべての命の尊さを痛感することの大切さ』を語りました。人はみな平等に、かけがえのない命を授かってこの世に生まれてきましたが、争いごとや、地震、事故などで若い命を落とす人が多数いることも事実です。だからこそ、今生きていることを当たり前と思わず、今に感謝をして生きていくことが大事です。この気持ちを日々持ち続けることは、とても難しいことだと思いますが、この一瞬だけでもそれを感じて欲しいですし、自分の命をどうでもいいと思ったり、人の命を軽んじたりする言動があってはなりません。最近「チクチクコトバ」「サクラコトバ」をよく耳にします。負の言葉の排除と正しい言葉の正常化を願いたい。そして、この一年、この3学期、生徒たちには心温かく優しい中学生として成長してほしいと思います。それが今回の災害で亡くなった方への、せめてもの報いだと思います。